

横浜市立洋光台第一小学校



学校だより

令和3年4月7日発行

令和3年度



創立50周年の年 『新たなめあて』

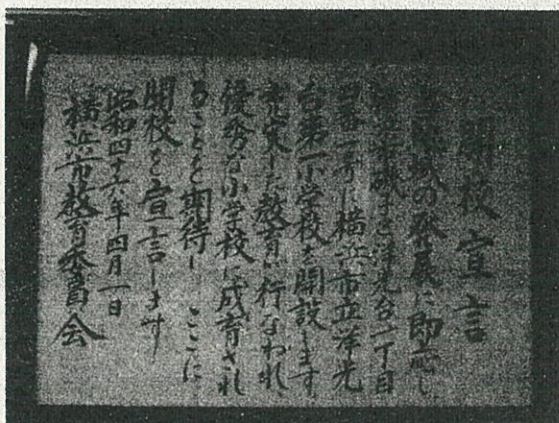
校長 中村 智

お子様のご入学、ご進級、まことにおめでとうございます。

子どもたちは、気持ちも新たに登校してきたことと思います。2年生から6年生は、修了式の日には昨年度の担任の先生から渡してもらった「あゆみ」をみて、頑張ったこと、さらに伸ばしていけそうなこと等を確認したことでしょう。また、保護者の方より日頃から褒められたり励ましてもらったりしたことをもとに、自分のよさや強み、あるいは課題を認識し、新しい学年での『新たなめあて』を胸にしていることと思います。

本年度、洋光台第一小学校は創立50周年となりました。人間で言うと“満50歳”です。ここで、洋光台第一小学校の創立について少し記します。

1970（昭和45）年4月に、日下小学校洋光台分校として現所在地に開校しました。このときはプレハブ校舎だったようです。この少し前の同年3月に、根岸線の磯子～洋光台間が開通し、洋光台駅ができました。そして1971（昭和46）年4月1日に洋光台第一小学校として開校しました。時を同じくして、洋光台第二小学校、洋光台第一中学校も開校しています。まさに洋光台のまちとともに歩んできた学校です。



元号は、「昭和」から「平成」、そして「令和」と変わり、令和3年4月1日をもって開校以来“半世紀 50年”が経過しました。11月6日には創立50周年記念式典を予定しております。当初、式典は昨年度に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、洋光台のまちの50周年式典延期にあわせさせていただき、一年延期としました。50周年記念として芸術鑑賞会は昨年度の10月23日に実施しましたが、周年行事等にかかわる多くは、本年度実施いたします。

今年度は、子どもたちとともに、洋光台第一小学校、そして洋光台のまちの歴史や魅力等について知り、各教科の授業や学校行事において、創立50周年と関連付けて学習したり活動したりしていきたいと考えております。

創立50周年、令和3年度のスタートです。上に記した子どもたちの『新たなめあて』が実現できるように、保護者の皆様、地域の皆様とともに、洋光台第一小学校は子どもたちの指導、支援にあたってまいります。

〈お願い〉 保護者の皆様、地域の皆様の中で、小学生のときに洋光台第一小で学ばれた方に、当時の思い出やエピソードを寄せていただいただけるとありがたく思います。電話でも手紙等でも結構です。また、写真や絵図等がございましたら拝見させていただけると幸いです。記念式典、記念誌や記念リーフレット作成に向けての参考にさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。